



道の友垣

皆さん、こんにちは。私は西ペドロ・ミサオです。この度、松風支部長となりました。

まず家族の紹介をします。父は西ヤスオ(没)、母はシオコ(ブラジル在住)。妻はジャニセクリステイーナ。子供は3人いて、グレツグ、エリキ、ジャフ。孫は2人いて、ミゲル、アランと言います。さて、私は信仰3世。祖父の代に大本とご縁を頂きました。入信してもう40年になります。ブラジルにいる時はジャンジラにある南米本部に参拝していました。

一九九三年に仕事のために日本に来ましたが、参拝や活動はほとんど出来ていませんでした。二〇一〇年から松風支部に入り、そこからまた信徒として活動を始めました。

私は現在支部長として、大本が誕生したその目的(例えば世界平和や霊界の存在)を大本を知らない人に伝える活動をしています。その中で皆さんと一緒に自分も「光」「御神徳」をいただき、魂を磨いて、一日も早くミロクの世界が実現するように活動しております。今後とも家族共々、宜しくお祈りいたします。

Saluton!

こんにちは

にし 西ペドロ・ミサオさん

浜松市在住

松風支部長

1963年6月26日生まれ

直心会から

東海教区の研修会は来年6月26日となりました。会費3000円で行き先は亀岡の近くにある出雲大神宮です。午後からは正食に付いての講話で大体決定しました。本部集合で本部解散になります。

また、長生殿の献労は、来年5月5日と11月19日です。

11月の連合会長会議で、花ふきんなどの売上によるバザー献金納めてきました。ご協力ありがとうございました。(斎藤雅美文)

ひのものとくにくにうまれしかみのこよ
よきたねおまけのにもやまにも
ちのごおん つちにうまれて つちにいき
つちのおんうけ つちにかくる

(写真上)

(写真下)

出口すみこ



静岡分苑信徒の心の拠り所
二代教主歌碑

現在静岡分苑前庭に建立されている二代教主歌碑は、昭和27年元富士別院に、当時富士酸素株式会社社長の望月虎一氏により建てられました。その年、二代教主様御臨席のもと多くの信徒が参集し、除幕式が盛大に開催されました。その後、望月虎一氏の私庭に移されて数十年の年を経て、平成27年新しくなった現在の静岡分苑に再び移設されることとなり今に至ります。そのお歌が上記の二首です。

この二首のお歌は私たち人間がこの世に生まれた使命や生き方を諭されています。私たちはこのお示しを心にきざみ大本信徒に限らず全世界の人々が、大きな災難や苦難を乗り越え、真の平安で安全な世の中を建設することを目指していきたいと思えます。私たち大本静岡分苑では毎月の月次祭にこの二首のお歌を朗詠させていただきます。

(宮嶋政幸 文)

中学生研修会の案内

聖地天恩郷にて「冬期中学生研修会」が開催されます。新型コロナウイルス対策のため、今年は12月26日のみの開催です。講話や神苑案内、茶道体験、百鏡かるた大会が行われる予定で、全国の中学生と交流できるまたとない機会です。

○開催日時：12月26日(日) 10時～17時(※遠方からの参加者は前日・当日宿泊可)

○会場：京都府亀岡市天恩郷

○対象：中学1年生～3年生

○参加費：一〇〇〇円

○服装：制服

○持ち物：筆記用具、マスク、健康保険証、常備薬(必要な方)

参加希望者は、12月19日(日)までに左のQRコードから申し込むか、大本青年部事務局(0771-56-9084)へご連絡ください。

※静岡分苑青年部より交通費を一部補助させていただきます。参加された場合は谷田淳子(090-1272-2558)までご連絡ください。





〈編集後記〉

令和4年教団方針の中から一部抜粋します、

教主様は令和3年のみろく大祭ごあいさつで、「新型コロナウイルス感染拡大をきっかけに、世界は進む方向を大きく転換してゆかなくてはならなくなりました。これからの時代は、神さまを中心とした人間の在り方でないと何事もうまく進まない、神さまから諭されているように感じております」

私たちは開教の精神に立ち返り“お土の匂いのする教団の姿”を目指しながら、大本の教風を護り、神さまを中心に一人一人が大和魂を奮い立たせて、“大地のご恩に報いる生活の実践”に努めてまいります。とあります、11月の秋季大祭は、参拝者の制限無しに執行させて頂き多くの方に参拝して頂きました、来年は月次祭や、各部会の活動 研修などの行事に、多くの皆様の参拝、参加をお願い致します、1月1日午前11時から、元旦祭を行います参拝をお願いします。

世界が大きく転換してゆく世の中であって私達は、日々“祈り”神様のみ旨に添っているのか省みて 明るく ほがらかに 前を向いて実践してゆきましょう。

(静岡分苑長 谷田新樹)

令和3年12月12日

発行者 大本静岡分苑

〒421-3306

富士市中之郷小池下2353-1